

CHAPTER 1

歴史

安息と平穩の理想郷は 信仰の里に存在していた

中央の文化がいち早く
この地にもたらされた

会津の聖地、伊佐須美神社。四道將軍の
父子がそれぞれの道をたどり、東北道の各
地を平定した後、この地で出会ったことか
ら「会津」という地名が起ったと伝えられ
ています。この時、国家鎮護のため、国土
開拓の神様であるイザナギノミコト（伊弉
諾尊）、イザナミノミコト（伊弉冊尊）の
二神を新潟県境の御神楽岳に奉斎しました。
これが伊佐須美神社の起源とされています。

その後、博士山、明神ヶ岳を経て、欽明天
皇十三年（五二二）に高田南原の地に遷御。
同二十一年（五六〇）現在の宮地、東原に
御社殿を造営しました。御鎮座されて以来
一、四〇〇有余年、名神大社・岩代国一宮・
会津総鎮守の格式をもち、いまなお産業文
化、延寿縁結、交通安全などの守護として
県内外の人々の深い崇敬を集めています。

伊佐須美神社の四道將軍神話は、この地
に中央の農耕技術や先進文化が伝えられた
ことを物語るものであり、会津文化発祥の
地であるといえます。いわば会津高田町は
豊穡の土地であり、理想郷なのです。